

世界一過酷なラリーといわれる **アフリカラリー選手権** シリーズチャンピオン獲得!

TYPE Gr.N



インターラリー（国際格式でのラリー競技）を制するためにサスペンションに求められるトラクション、ステアリングレスポンス、高速安定性などの条件を、「M.S.V（微低速バルブ）」、「温度補償バルブ」、「H.B.S（油圧式パンブストッパー）」などの先端技術の採用により具現化。活躍の舞台を世界に求める超性能ダンパー。

新製品紹介

「**BASIC FLEX WAGON**」 「**SUPER FLEX WAGON**」



全長調整式車高調整機構を採用し、快適な乗り心地と精悍なローダウンスタイルを両立。「BASIC FLEX WAGON」はリーズナブルプライスを追求し、「SUPER FLEX WAGON」は16段伸縮同時減衰力調整機構、専用強化ゴムマウントを採用したワゴン・ミニバン用車高調整ダンパーのフルスペックモデル。

(写真はSUPER FLEX WAGON)

会社概要 (平成20年9月30日現在)

商号	株式会社テイン (TEIN,INC.)
設立	昭和60年2月28日
所在地	本社工場 横浜市戸塚区上矢部町995-1 TEL 045-810-5511 (代表) FAX 045-810-5512 TEL 045-810-5501 (製品のお問合せ) IR (投資家向け広報) 担当TEL 045-810-5511 (代表)
資本金	2億1,755万円
従業員数	174名 (社外への出向者、契約社員および臨時従業員は含まず。)
事業内容	自動車用サスペンションをはじめとする自動車用品の製品開発、設計製造、販売および輸入自動車用品の販売。
代表者	代表取締役社長 市野 諒
役員	専務取締役 藤本 吉郎 取締役 那須 賢司 取締役 武井 共夫 弁護士 監査役 佐々木 洋人 監査役 奥川 貞夫
取引銀行	株式会社三井住友銀行、株式会社横浜銀行
事業所	仙台営業所 仙台市宮城野区萩野町3-13-3 北関東営業所 埼玉県さいたま市南区内谷2-2-3 横浜営業所 横浜市戸塚区上矢部町995-1 名古屋営業所 愛知県春日井市白山町7-17-7 大阪営業所 兵庫県伊丹市北伊丹3丁目55 福岡営業所 福岡県筑紫郡那珂川町道善2-40

株主メモ 株券電子化に関連するご案内について別紙をご参照ください。

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催します。
基準日	
定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日 (中間配当金の支払いをおこなう場合)
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部 (住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-707-842 (その他のご照会) ☎ 0120-707-843 株主お手続き用紙のご請求をインターネットでもお受け付けいたしております。 ホームページアドレス http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)
同取次所	日本証券代行株式会社 各支店
単元株式数	100株
単元未満株式買取請求取扱場所	上記株主名簿管理人がお取り扱いいたします。
株式取扱手数料	名義書換 無料 新株交付 新株券1枚につき印紙税相当額 単元未満株式買取手数料 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額
公告の方法	電子公告 下記ホームページに掲載いたします。 http://www.tein.co.jp/ir.html ※貸借対照表、損益計算書は、EDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

メールサービスについてのご案内
投資家の皆様の利便性向上を図るため、「情報開示サービス」をおこなっております。
ご利用方法は、下記当社ホームページでご確認ください。
<http://www.tein.co.jp/ir/irtekiji.html>

株主・投資家の皆様へ

第26期 株式会社テイン 中間のご報告

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで



当社グループでは全世界における共通したブランドイメージの確立と向上を目的としたグローバルメッセージ「For Your Driving Pleasure」を設定いたしました。

トップメッセージ

TOP message

株主の皆様におかれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、当社第26期第2四半期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国発の金融不安が本格化するとともに、原油・原材料価格の高騰等を受けて個人消費や企業活動に冷え込みが見られ、輸出、生産、企業収益など全ての指標が弱含みの中で推移いたしました。また米国における金融不安の高まりや株式・為替市場の変動によってはさらに下振れが懸念されるなど、ますます景気の減速感が強まっております。

内外のカーアフターマーケットにおきましては、欧州地域では景気が弱含みつつも概ね需要は持続し、またアジア地域では中国等での景気拡大が続いていることを背景とした根強い需要が見られました。他方、国内市場ではガソリン価格の上昇などから消費が停滞し、米国では景気後退局面が懸念される中での消費手控えによる低迷など、サスペンション業界においては依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループでは、開発型企業としてのより一層の深化を目指した試験研究活動と合わせて、海外の各地域における適合性の確立とより高品質な製品開発に注力するため、エンジニアの現地派遣による開発テストを強化実践してまいりました。

また、景気拡大が続く中国市場への販売強化を目的として第1四半期に営業を開始した香港における現地販売子会社「TEIN HONG KONG LIMITED」の活動を本格化するなど、販売力の強化に軸足を置いた経営施策を鋭意実行してまいりました。

しかしながら、前述のとおり足元となる国内における用品市場は全般的に停滞し、また北米地域では景気の後退局面入りと言われる中で、販売活動は苦戦を強いられました。なお、欧州地域では東ヨーロッパなどを中心に順調に推移し、アジア・オセアニア地域内でも香港・中国では引き続き好調となりましたが、その他では息切れ感が見られました。またTEIN HONG KONG LIMITEDは順調な滑り出しとなったものの第2四半期連結累計期間の全てに寄与するには及びませんでした。さらには、グループ全体で円高による為替換算の影響を大きく受けることとなりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,558百万円、経常利益237百万円、四半期純利益129百万円となりました。

株主の皆様の変わらぬご支援にあらためて感謝を申し上げますとともに、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
市野 諒



証券コード：7217

テインの信頼と美観の象徴、「ダンパッチ」です。

財務情報

四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間連結会計期間	当第2四半期連結累計期間
	平成19年9月30日現在	平成20年9月30日現在
資産の部		
流動資産	3,750	3,373
固定資産	764	725
有形固定資産	491	470
無形固定資産	27	27
投資その他の資産	245	228
資産合計	4,515	4,099
負債の部		
流動負債	866	818
固定負債	282	305
負債合計	1,149	1,123
純資産の部		
株主資本	3,358	3,010
資本金	217	217
資本剰余金	215	215
利益剰余金	2,936	2,983
自己株式	△11	△406
評価・換算差額等	8	△35
為替換算調整勘定	8	△35
純資産合計	3,366	2,975
負債・純資産合計	4,515	4,099

四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間連結会計期間	当第2四半期連結累計期間
	平成19年4月1日から平成19年9月30日まで	平成20年4月1日から平成20年9月30日まで
売上高	2,818	2,558
売上原価	1,427	1,374
売上総利益	1,390	1,184
販売費及び一般管理費	992	973
営業利益	397	210
営業外収益	11	29
営業外費用	8	2
経常利益	400	237
特別利益	0	3
特別損失	0	0
税金等調整前中間純利益	400	240
法人税等	160	110
四半期純利益	240	129

今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、米国発の金融不安に端を発する世界経済の混乱により、世界同時株安が実態経済にも多大な影響を及ぼし、企業収益の低下や個人消費動向の減速感が強まることが懸念されます。

当社が属するカーアフターマーケットにおきましても、景気の先行き不透明感がますます強まることにより、買い控えによる需要の低迷や、販売競争の激化が考えられます。

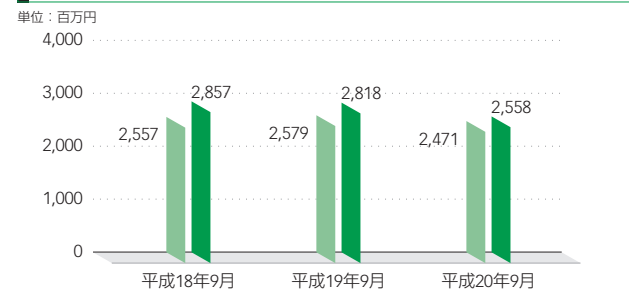
当社グループといたしましては、海外営業拠点の新設等により、当該地域における需要活性化に向けた種まきともなる営業活動をより一層強化するとともに、中長期的な生産体制の改革に向けた原材料調達の最適化、技術開発体制の拡充、世界品質の確立などにより、次のステップに照準を定めた経営基盤の強化に努めてまいり所存であります。

なお、通期の業績予想といたしましては、前述のとおり厳しい経済情勢と合わせて、為替の影響を大きく受ける可能性などを勘案して、以前にご案内申し上げた予想を修正し、売上高4,586百万円、経常利益112百万円、当期純利益45百万円を見込んでおります。

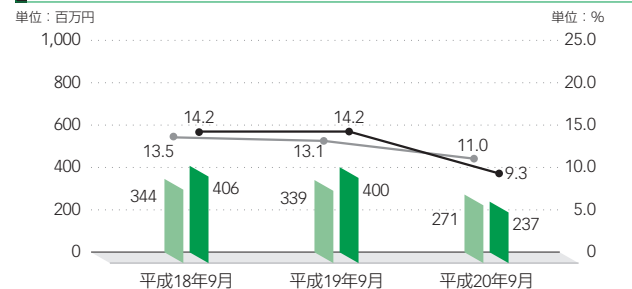
平成20年12月

売上高〈第2四半期〉

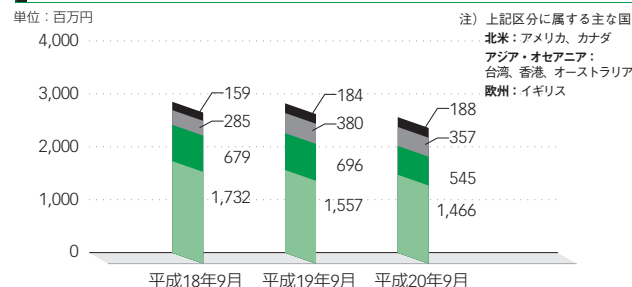
■単体 ■連結



経常利益〈第2四半期〉 / 売上高経常利益率〈第2四半期〉



地域別売上高〈第2四半期〉(連結)



(注) 当期から四半期開示制度に伴う会計基準の変更により、当期の業績数値につきましては第2四半期累計期間の業績について記載しております。また、過年度分の業績数値につきましては、参考数値として記載させていただきます。

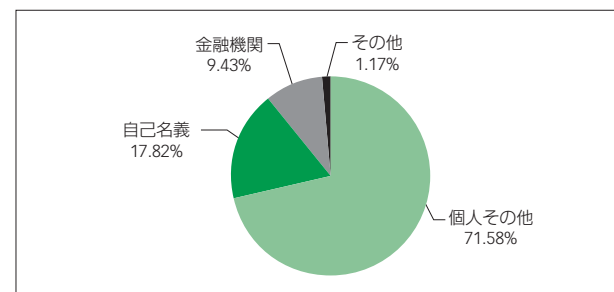
株式情報

株式情報（平成20年9月30日現在）

発行済株式の総数 6,652,250株

株主数 877名

所有者別株式分布



大株主（上位10位）（平成20年9月30日現在）

株主名	持株数(株)	出資比率 (%)
市野 諒	2,907,400	43.7
株式会社ティン	1,185,450	17.8
藤本 吉郎	510,900	7.6
市野 ルリ子	200,000	3.0
株式会社横浜銀行	195,000	2.9
日本生命保険相互会社	195,000	2.9
株式会社西京銀行	151,300	2.2
小島 宣保	129,000	1.9
市野 澄恵	121,500	1.8
東京海上日動火災保険株式会社	78,000	1.1